

2025 年 10 月 22 日
TOPPAN 株式会社

TOPPAN、遮光性のある「チューブなパウチ®」を開発

光による劣化を抑える必要がある内容物にも活用が可能に

花王の化粧品詰め替え用途として採用

TOPPAN ホールディングスのグループ会社である TOPPAN 株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:大矢 諭、以下 TOPPAN)は、2020 年 4 月にチューブの使いやすさとパウチの絞り出しやすさを合体させた「チューブなパウチ®」を販売開始し、プラスチック使用量や CO₂排出量を削減できる環境配慮パッケージとして提供しています。

このたび「チューブなパウチ®」のラインナップを拡充し、新たに遮光タイプを開発しました。2025 年 10 月 22 日より販売を開始します。これにより、光による劣化を抑える必要がある化粧品や薬品などの内容物でも「チューブなパウチ®」を利用することが可能になりました。

本製品は提供開始に先立って、花王株式会社(東京都中央区、代表取締役社長:長谷部 佳宏、以下 花王)の化粧品「キュレル 潤浸保湿 フェイスクリーム つめかえ用」に採用され、2025 年 10 月 11 日より一般販売を開始しています。クリームのような粘度のある液体でも残液がほとんどなく、本体のジャー容器への詰め替えが可能です。

なお本製品は、2025 年 11 月 12 日(水)から 14 日(金)まで開催される「第 5 回 サステナブル マテリアル展(SUSMA)」(会場:幕張メッセ)の TOPPAN ブース(4 ホール 小間番号 22-50)にて展示します。



採用された「キュレル 潤浸保湿 フェイスクリーム つめかえ用」

■ 開発の背景

持続可能な社会の実現に向けた世界的な機運の高まりを受け、環境負荷を低減するパッケージに注目が集まっています。日本では 2022 年にプラスチック資源循環促進法が施行されるほか、EU で 2030 年までにすべての包材を再利用・リサイクル可能にする目標が掲げられるなど、各国が包装廃棄物の資源循環に取り組み始めています。

そこで TOPPAN は循環型社会実現への貢献を目指し、パッケージを起点としたサステナブルブランド「SMARTS™(スマーツ)」を立ち上げ、市場からの要求品質に応え環境適性を高めたサステナブルパッケージの開発を行っています。その一環として、2020 年 4 月にはチューブの使いやすさとパウチの絞り出しやすさを合体させた「チューブなパウチ®」を販売開始し、様々な食品や化粧品などの環境配慮パッケージとして提供しています。

しかし、従来の透明な「チューブなパウチ®」を利用する際、内容物によっては光が当たると成分の分解や劣化、酸化、変色など、保存性が低下する場合もあるため、これまでは外箱を用いることなどで遮光性を保持していました。

そこで今回、TOPPAN は光による劣化を防ぐ「チューブなパウチ®」の遮光タイプを開発しました。環境に配慮しながら内容物の品質保持にも貢献します。

■ 本製品の特長

・光による劣化を抑え、内容物の品質を保持

「チューブなパウチ®」の遮光タイプは、アルミ蒸着フィルムを用いることで高い遮光性を保持し、外箱なしで光による劣化を防ぐことが可能です。成分の分解や劣化、酸化、変色などを防ぎ、内容物の品質保持に貢献します。

・最適な溶着方法により、安定した製品品質を保持

TOPPAN がこれまで培ってきた溶着技術(※1)と量産ノウハウを活用し、遮光性を実現する蒸着層にダメージを与えない最適な溶着方法を新たに開発しました。これにより、光の入射を抑えることができ、内容物の劣化を防ぎます。

・胴体が薄く中身を絞しやすい、かつプラスチック樹脂の使用量を 30%削減

「チューブなパウチ®」シリーズは胴体フィルムの厚みが薄く、封筒状に折り畳む加工を施すことで、胴体を握った時の弾力を軽減し、容易に中身を絞ることが可能です。さらに注出口のプラスチックパーツを水平に設計することで、当社従来のラミネートチューブと比較して内容物を最後まで絞りやすくなっています。

また、胴体フィルムの厚みを薄くすることで、当社従来のラミネートチューブと比較してプラスチック樹脂の使用量を 30%以上削減できます。

○ 当社従来のラミネートチューブ



○ 「チューブなパウチ®」



■ 今後の目標

TOPPAN は今後も「チューブなパウチ®」をトイレタリー・医薬・食品分野などに提供し、関連受注を含め 2027 年までに 10 億円の売り上げを目指します。また、環境配慮パッケージを通して持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※1 溶着技術:

熱可塑性プラスチックや非鉄金属などの素材を、加熱・加圧・保冷などを通して接合する加工技術。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上